

2019.12.12

## 急斜面でも防除が楽に

JA 三原せとだ柑橘事業本部は、瀬戸田町内の約6アールのかんきつ畑で生産者の高齢化や作業負担の軽減などに繋げるためドローン（小型無人飛行機）を活用した柑橘防除を試験しました。生産者や農薬メーカーなど約50人が見学に訪れました。園地は急斜面で、防除機械や車両が入りにくく防除は、大きな負担となっています。

試験ではメーカー協力のもと農業用ドローンで散布した薬液が均一に付着するかを検証しました。ドローンでの作業は、1ヘクタール当たり約20分と、従来と比べ4分の1程度となり省力化が見込めました。

見学した高本泰伸さん（44）は「実用化になれば、作業軽減につながる。作業が楽になると思う」と話し、今後に期待を込めました。

同JA宮本悟郎部長は「JAが中心となって、生産者の負担軽減を目指し、できるだけ早く実用化に向けて取り組む」と話し、来年も試験を継続する予定です。

